廃棄物削減・ゼロエミッション

ムラタの事業活動にともなう廃棄物に起因する環境負荷をできる限りゼロに近づけるため、生産工程などを見直し、廃棄物の排出を抑え、再利用・再資源化を推進することにより、循環型社会の構築を目指します。

ゼロエミッションを目指して

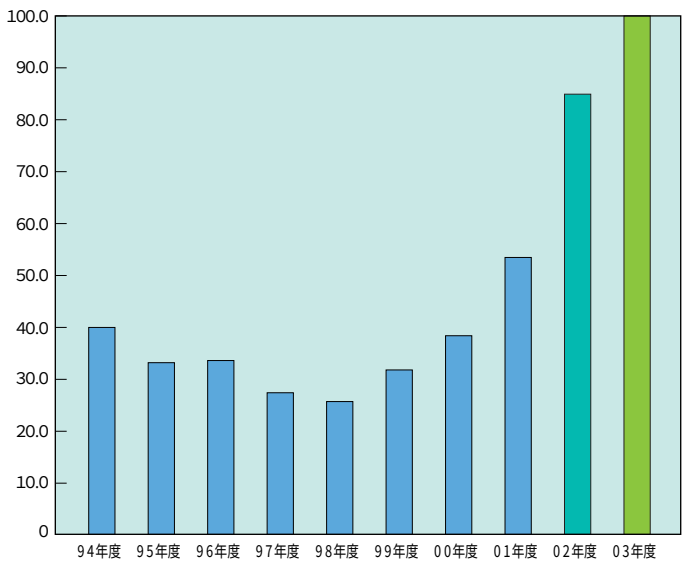
ムラタでは、2003年度末までの目標であるゼロエミッション達成のため、対象となる廃棄物*1の埋立ゼロ*2（リサイクル率100%）を目指し生産工程の見直し、廃棄物の排出量の抑制、再資源化・再利用を推進しています。2003年3月末時点でのリサイクル率は、国内では2002年3月末と比較して31.6ポイント高まり、84.9%となっています。（海外では40.1%）

2002年度の主な取り組みとしては、汚泥の高温溶融スラグ化（路盤材としての再利用）やセラミックが付着したPETフィルムのリサイクルなどがあります。

*1 ゼロエミッション活動の対象となる廃棄物
ムラタでは、自らの取り組みだけでは対応できないと考えられる廃棄物をゼロエミッション及びリサイクル率の対象から除いています。
例）浄化槽余剰汚泥、公共施設での処理が指定されている一般廃棄物など。

*2 埋立ゼロ
直接埋め立てする廃棄物をゼロにするだけでなく、中間処理（焼却・中和など）後の残さ・汚泥なども含めて埋め立てする廃棄物をゼロにすることをいいます。

リサイクル率(国内)



【ユニフォームのリサイクル】

ムラタグループ各社で使用しているユニフォームのリサイクルを促進しています。ポリエステル100%のユニフォームを使用し、着古されたユニフォームは、ポリエステル再生処理会社と連携し、ユニフォームなどのポリエステル製品として再資源化しています。

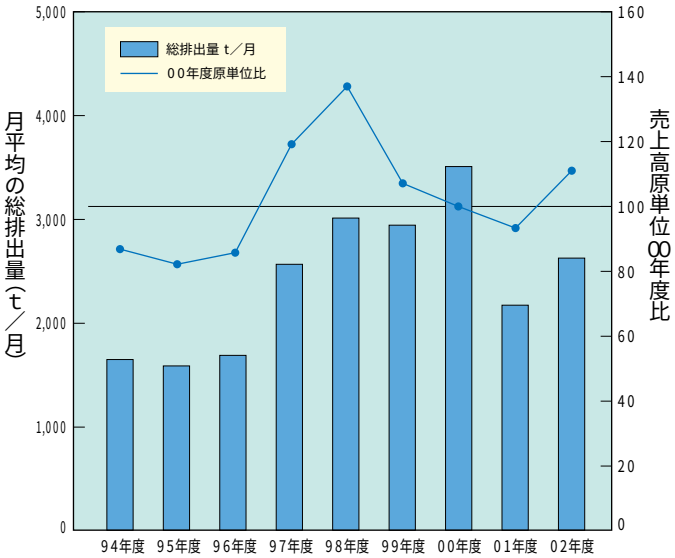
【セラミック付きフィルムのリサイクル】

福井村田製作所では、セラミックが付着したPETフィルムから、セラミック部分を剥離し、分離したPETフィルムについてはPET原料として再資源化しています。また剥離したセラミック部分については貴金属回収・非鉄金属製錬による再資源化を行っています。同様のリサイクルをMurata Electronins Singapore(Pte.) Ltd. などでも行っています。

排出量削減（リデュース）に向けて

２００２年度における廃棄物の月平均排出量は、国内で2,624t／月、海外で３８２t／月となっています。２００３年度末までの行動計画として、売上高廃棄物排出量原単位で２０００年度比１０％削減を目指し各種の取り組みを推進してきましたが、結果としては２００２年度は２０００年度比１１％の増加となりました。２０００年度に比べて、生産高が減少していることに加え、製品単価の大幅な値下がりが大きな要因であると考えています。しかしながら行動計画の達成に向けて、廃棄物の減量化、不良率の低減、原料の高効率利用などの施策を推進し、さらなる改善に努めていきます。

廃棄物総排出量と売上高原単位２０００年度比の推移（国内合計）



【社員食堂から出る生ゴミをコンポスト化】

国内の厨房付き従業員食堂のあるすべての事業所（１８事業所・子会社）に、生ゴミをコンポスト（堆肥）化する設備を導入しています（投資総額6,900万円）。

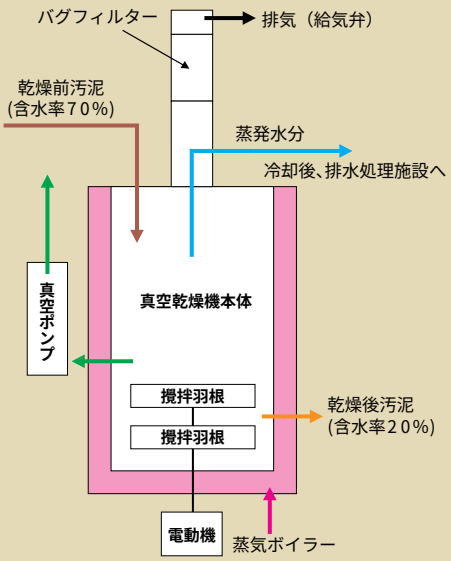
生ゴミの発生量は年間で約２００t（国内）ありましたが、これを年間２０～４０tまで減容化しコンポストとすることで外部への排出をなくしました。コンポストは構内の緑化などに役立てています。

装置

生ゴミの投入

コンポストと土壌の撹拌作業

【汚泥乾燥機の導入】

富山村田製作所では、真空汚泥乾燥機を用いて、排水処理の際に発生する汚泥の減量化を行っています。

含水率７０％の汚泥を２０％まで乾燥させることにより、年間約１９０tの排出量削減効果があります。